

白金校舎での
対面講座

関東大震災100年

今年は関東大震災が起こってから100年です。震災のような非常時には、昔も今も、社会の歪みと希望が同時に現れることがあります。そこで本講座では、流言扇動による虐殺、日記にかかわる人々の心、ボランティアの起こりなどに触れながら、震災が社会に与えた影響について考えます。また、首都直下地震に備えた港区の対策についてもお話させていただきます。

各日 18:25～19:55

日付	テーマ	講演者
10/3 (火)	関東大震災時の朝鮮人虐殺と「否定論」の諸問題	鄭 栄桓 (本学教授)
10/5 (木)	大震災とボランティア - 行為が現実を発見し、現実が行為に迫る -	池田 浩士 (京都大学名誉教授)
10/10 (火)	日記・手記の語りから考える 災害経験とその継承	田中 祐介 (本学専任講師)
10/17 (火)	阪神・淡路/東日本大震災と日本に暮らす外国人 - 社会の担い手として -	長谷部 美佳 (本学准教授)
10/19 (木)	首都直下地震に備えた港区の防災対策	鳥居 誠之 (港区防災危機管理室防災課長)

※初回は開講式のため約10分延長予定

受講料 2,500円 (全5回)

企画 明治学院大学教養教育センター附属研究所

共催 公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団

実施形態 白金校舎での対面講座

お問合せ・お申込み先

明治学院大学 総合企画室社会連携課 〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37
TEL : 03-5421-5247 (平日 9:30 ~ 16:00) E-mail : skoukai@mguad.meijigakuin.ac.jp

お申込み・詳細情報は
こちらから

